

取扱説明書

日立電子レンジ 業務用

MR-P1000形

仕様	
電源	交流 100V 50Hz または 60Hz いずれか専用
消費電力	960W
高周波出力	500W、200W相当、0W
発振周波数	2,450MHz
外形寸法	幅 470×奥行 395×高さ 298mm
加熱室有効寸法	幅 300×奥行 302×高さ 165mm
ターンテーブル直径	280mm
質量(重量)	約 14.5Kg

※この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

お客様メモ

購入店名 ★後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される時にお役に立ちます。

電話 (— —)

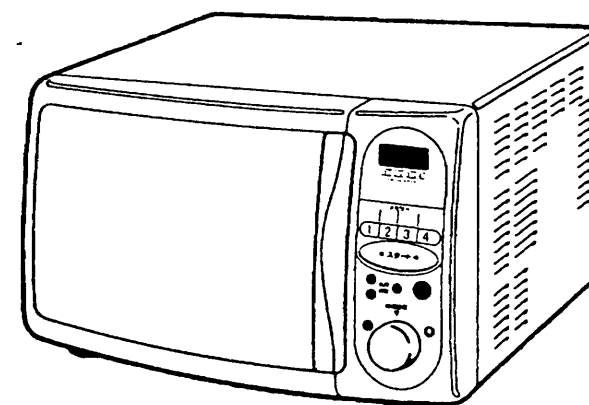
ご購入年月日 年 月 日

株式会社 日立ホームテック
株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋 2丁目 15番 12号 電話(03)3502-2111

禁無断転載・不許複製 NH212170-01・9808()

このたびは日立電子レンジをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。



目次

安全のため必ずお守りください……………	2	「使用前」
各部のなまえとはたらき……………	8	
表示窓のはたらき……………	10	
加熱時間の合わせかた……………	10	
加熱時間の決めかた……………	11	

手動調理の使いかた……………	12	「正しい使いかた」
メモリー(記憶)調理の使いかた……………	13	
ブザー音設定のしかた……………	14	
使用回数の調べかた……………	15	
加熱のしくみ……………	15	
使える容器、使えない容器……………	16	

本体・付属品のお手入れ……………	17	「使用の後」
次のことをお調べください……………	18	
次の場合は故障ではありません……………	18	
保証とアフターサービス……………	19	
仕様……………	裏表紙	

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



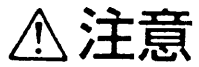
危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



この記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるもので、図の中に具体的な注意内容が描かれています。



この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

据え付けるとき

警告	
<p>電源は定格^{アンペア}15A以上の専用コンセントを単独で使い、他の器具と併用する分岐コンセントは使わない。 (過熱・発火・火災の原因)</p>	<p>傷んだ電源コードや差込プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない。 (感電・ショート・発火の原因)</p>
<p>●燃えやすいもののそばに置いたり、熱に弱いものやカーテンなどを近づけない。 (冷却が不十分となり、異常動作の恐れ)</p>	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。 (コードが破損し、火災、感電の原因)</p>
<p> ●たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱いものの上に置かない。(異常動作、床面の汚れの恐れ)</p>	<p>交流^{ボルト}100V以外では使用しない。 (火災・感電の原因)</p>
	<p>包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管すること。 (頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する恐れ)</p>

据え付けるとき

警告

アースを確実に取り付ける。
(故障や漏電の時の感電防止)

取り付けは、販売店または電気工事店にご相談ください。

■アース端子がある場合
リード線の先端の皮をむき、アース端子付コンセントのアース端子に確実に固定してください。

■アース端子がない場合
アース線の接地工事には「電気工事士」の有資格者が工事するよう法令で定められています。お買い上げの販売店か、お近くの電気工事店にご相談ください。(工事は有料)

ご注意
ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線への接続はやめてください。

●次の場合は、電気工事士の有資格者によりD種接地工事(接地抵抗^{オーム}100Ω以下)をすることが法令で義務づけられています。必ず電気工事店に依頼してアース工事をしてください。

湿気の多い場所

- 水蒸気が充満する場所 ●土間、コンクリート床
- 酒、しょうゆなどを醸造し、または貯蔵する場所

水気のある場所

この場合、漏電しゃ断器の取り付けも義務づけられています。

- 水を取り扱う土間、洗い場など水気のある場所
- 地下室など常に水滴が漏出したり、結露する場所

注意

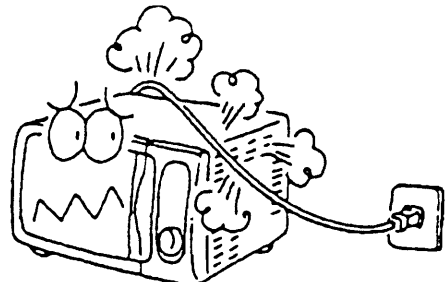
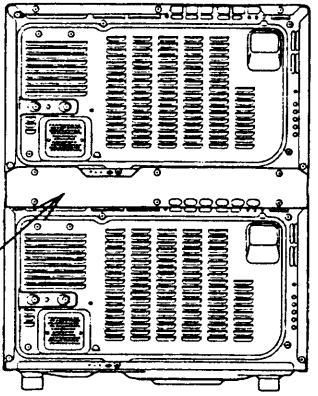
壁との間をあける。
(過熱して発火する恐れ)

すき間があっても四面を囲む設置はしない。
(過熱による発火、壁の汚れ、機能低下の原因)



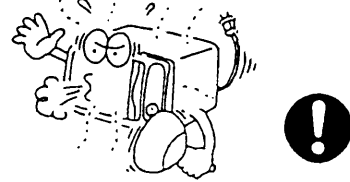
水のかかるところや熱気、火気の近くで使わない。
(感電、漏電、ショート、発火の原因)

(安全のため必ずお守りください)

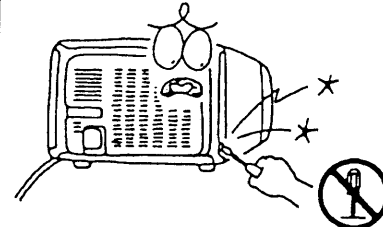

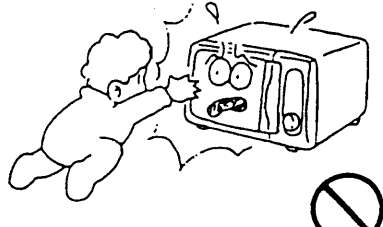



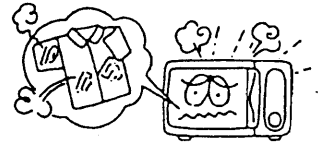
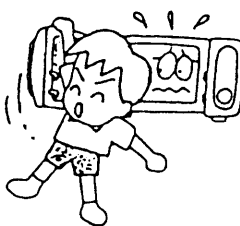
据え付けるとき

⚠ 注意	
<p>使用前に包装材は全て取りのぞくこと。 (発火・火災・やけどの原因)</p> <p style="text-align: center;">!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 水平で丈夫な場所に置く。 (振動、騒音、本体落下の原因) ● ラジオ、テレビおよびアンテナ線から3m以上離す。 (雑音や映像の乱れの原因) ● 受信感度が弱い場合には、さらに雑音が小さくなるまで離してください。 ● 落雷の恐れがあるときは、差込みプラグをコンセントから抜く。(故障の原因) ● 電源の定格周波数にあった周波数の地域で使用する。 定格周波数はキャビネットに貼ってある銘板で確認してください。合っていないと表示窓に「50」または「60」が点滅して動作しません。
<p>電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない。 (火災・感電の原因)</p> <p style="text-align: center;">⊘</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2段積み設置の場合、必ず専用の連結用金具を取りつける。 (上部の製品や物が落下し、けがや破損の原因) <p style="text-align: center;">!</p>  <p>連結用金具</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 連結用金具は別売りとなっていますので、販売店にご依頼ください。尚、金具の取付は販売店に依頼してください。(有料) ● 差込プラグは、それぞれ専用のコンセントに接続してください。 ● 3段積み以上の設置は、危険ですので絶対にしないでください。 	

お手入れのとき

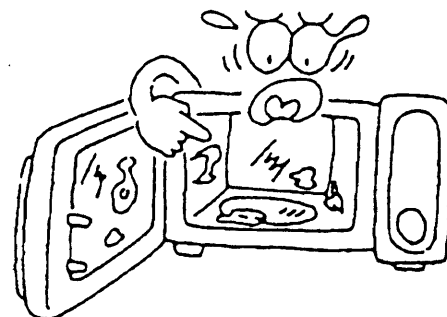

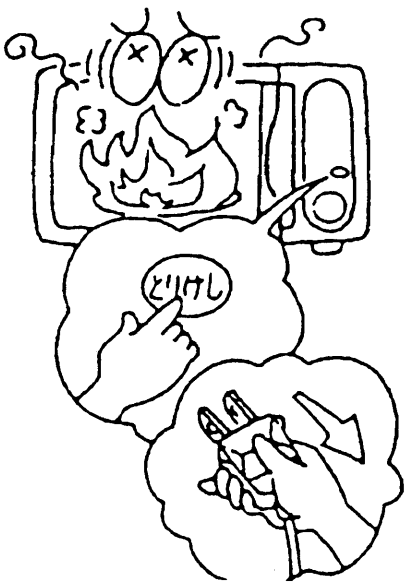
⚠ 警告		⚠ 注意
<p>お手入れの際は、必ず差込プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。(感電やけがの恐れ)</p> <p style="text-align: center;">⚡</p> 	<p>差込プラグの刃および刃の取り付け面のほこりをよくふく。(火災の原因)</p> <p style="text-align: center;">!</p> 	<p>本体の掃除は、必ず差込プラグを抜き本体が冷めてから行う。(やけど・感電の恐れ)</p> <p style="text-align: center;">!</p> 

使用するとき



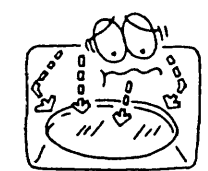



⚠ 危険		⚠ 警告
<p>改造は絶対にしない。また、サービスマン以外の方は、分解したり修理しない。 (火災、感電、けがの原因)</p> 	<p>穴やすき間などに指や物を差し込まない。特に子供はいたずらなどに注意。 (けが、感電や故障の原因)</p> 	<p>子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。 (やけど、感電、けがの恐れ)</p> 
⚠ 注意		
<p>ゆで卵は絶対に作ったり、あたためたりしない。目玉焼きのあたためもしない。 (破裂してけがの原因)</p> 	<p>びん類など密封された食品は栓やふたをはずし、膜や殻つきものは、切れ目や割れ目を入れる。 (破裂してやけどやけがの原因)</p> 	
<p>ドアに物をはさんだまま使わない。 (電波漏れによる障害の恐れ)</p> 	<p>衣類の乾燥など調理以外の目的に使わない。 (発煙・火災・やけどの原因)</p> 	
<p>長期間使わないときは、必ず差込プラグをコンセントから抜く。 (絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)</p> <p style="text-align: center;">⚡</p>	<p>差込プラグの抜き差しは、コードを持たずに、必ず差込プラグを持って行う。 (感電やショートして発火の原因)</p> <p style="text-align: center;">!</p>	
<p>ドアに無理な力を加えない。 (電波漏れの原因)</p> 	<p>本体の上に物を置かない。 (過熱してこげ・変形の恐れ)</p> <p style="text-align: center;">⊘</p>	<p>丸皿(耐熱ガラス製)に衝撃を加えない。 (破損してけがをする恐れ) 特に食器の出し入れのとき、丸皿のふちに当たらないようにしてください。</p> <p style="text-align: center;">⊘</p>

(安全のため必ずお守りください)

使用するとき

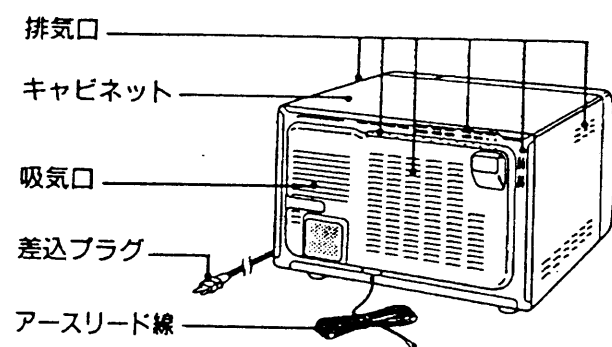
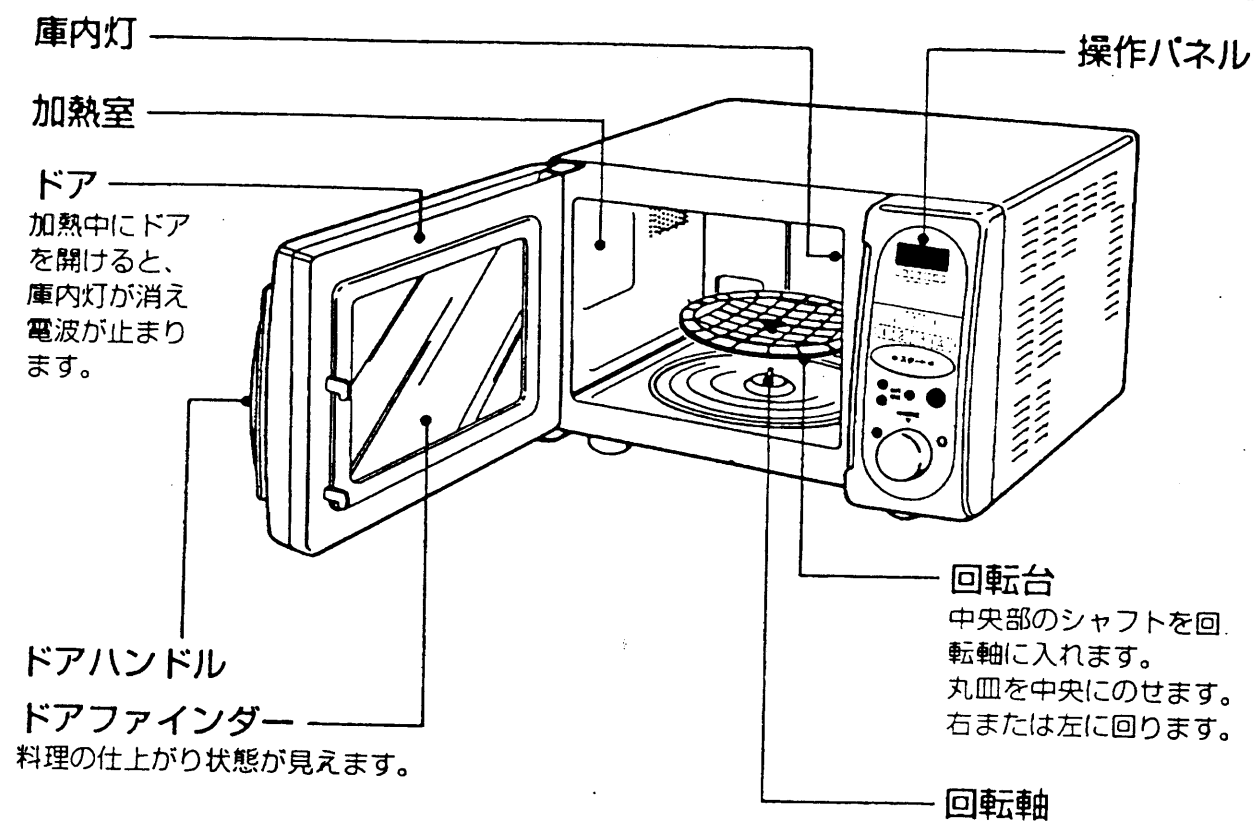
⚠注意	
<p>食品くずをつけたまま使わない。 (燃える恐れ)</p> 	<p>電子レンジが転倒・落下した場合は、使用せず、点検を依頼する。 (感電や電波漏れの恐れ)</p> <p style="text-align: right;">!</p>
	<p>調理後の食品の出し入れに注意する。 (やけどの原因) レンジ加熱でも容器や丸皿などが熱くなることがあります。</p> <p style="text-align: right;">!</p>
<p>加熱室内で食品が燃えだしたときは、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドアを開けない。(勢いよく燃える恐れあり) 2. とりけしキーを押し、運転を止めてから、差込プラグを抜く。 3. 本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するまで待つ。 鎮火しない場合は、水か消化器で消す。 そのまま使用せず、必ず販売店に点検を依頼する。 <p style="text-align: right;">!</p> 	

使用するとき

⚠注意	
<p>食品を加熱しすぎない。 (少量のもの、干物、パン、バター、サラダ油などはこげ、燃える恐れ)</p> 	<p>飲みものなどを加熱しすぎない。 (突然沸騰して飛び散ることがある) 牛乳、お酒、水、バター、生クリームなどは沸騰して飛び散り、やけどの恐れ。 加熱後でも突然沸騰して飛び散ることがある。</p> 
<p>加熱室が空のまま加熱しない。 (異常高温になり故障の原因)</p> 	<p>金属の調理器具は使わない。 アルミ箔を使うときは加熱室内壁、ドアファインダーに触れないようにする。 (火花<スパーク>、故障の原因)</p> 
<p>缶詰やレトルト食品は缶や袋のまま加熱しない。 (火花<スパーク>、こげ、破裂の恐れ)</p> <p>アルミ包装は加熱できません。 容器に移しかえて加熱します。</p> <p style="text-align: right;">!</p>	<p>乳幼児のミルクなどをあたためるときは仕上がり温度を確認する。 (やけどの恐れ)</p> 
<p>鮮度保持剤(脱酸素剤など)を入れたまままた、包装にラベルを貼ったまま加熱しない。(燃える恐れ)</p> <p style="text-align: right;">!</p>	<p>ラップをはずすときは、注意する。 蒸気が一気に出る場合があります。 (やけどの恐れ)</p> 

各部のなまえとはたらき

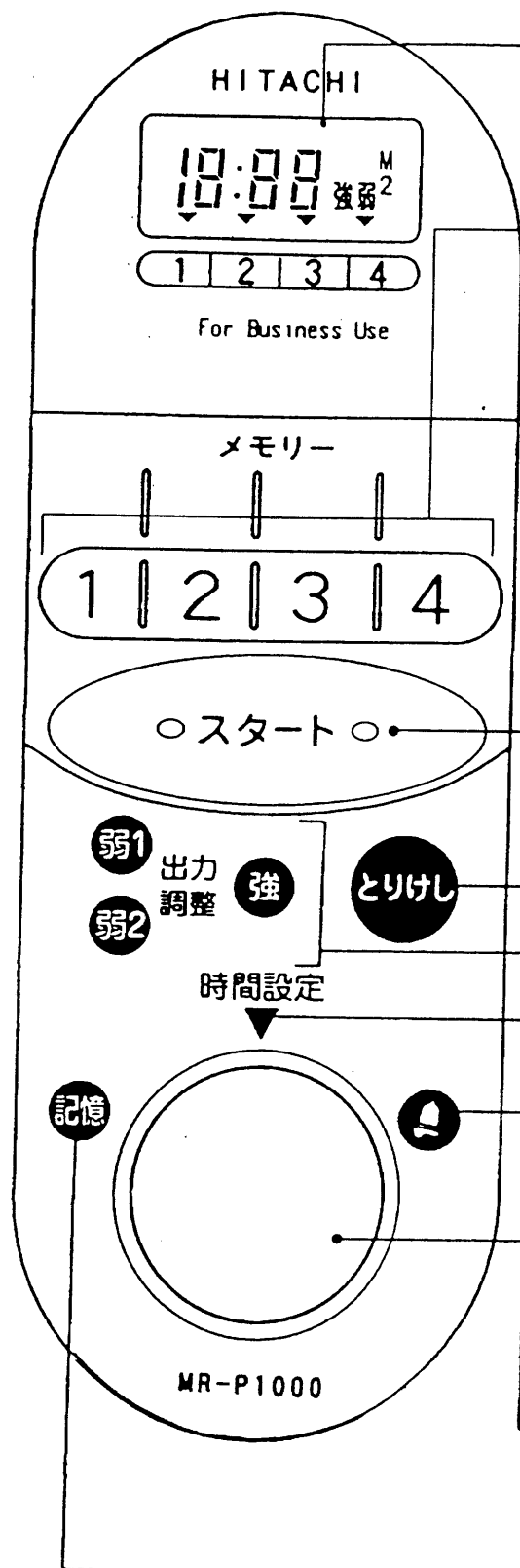
各部のなまえ／付属品



付 属 品

<p>■丸皿 (耐熱ガラス製)</p> <p>急冷すると、割れることがあります。</p>	<p>■回転台</p> <p>加熱室底部にセットしておきます。</p>	<p>●ほかに、メモリーシールが、あります。</p>
--	-------------------------------------	----------------------------

(各部のなまえとはたらき) 操作パネルのはたらき



表示窓 →10ページ

加熱時間、出力、メモリー表示サインなどを表示します。

メモリー(記憶)調理 →13ページ

メモリーキー

4個のメモリーキーに出力、加熱時間を記憶します。

スタートキー

手動調理とメモリー調理のとき「○ ○」が点滅します。キーを押すと庫内灯が点灯し、加熱が始まります。

とりけしキー

キーを間違えて押したとき、加熱を途中で止めるときに押します。

手動調理 →12ページ

出力調整キー

料理に合わせて「強」「弱1」「弱2」の出力を選びます。

時間設定ランプ

出力調整キーを押すと点滅します。

ダイヤル (時間設定)

時間設定ランプが点滅したら、ダイヤルを回して加熱時間をセットします。

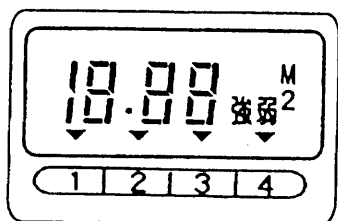
ブザー音設定キー → 14ページ

ブザー音を消したり、出したりするときに押します。

記憶キー →13,14ページ

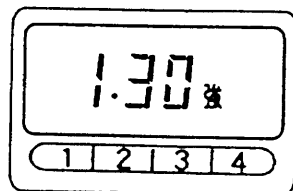
メモリーキーに加熱内容を記憶させるときに押します。

表示窓のはたらき



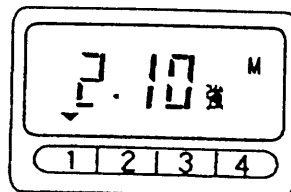
加熱時間表示

セットした加熱時間や調理の残り時間を刻々と表示します。



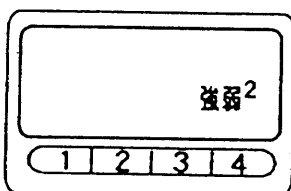
メモリー表示サイン

メモリー調理のとき設定したメモリー番号の上に▼マークが表示されます。



出力調整表示サイン

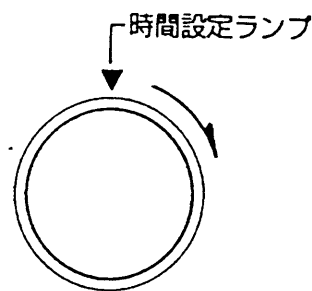
- 出力調整「強」を押すと「強」が表示されます。(高周波出力は500Wです。)
- 出力調整「弱1」を押すと「弱」が表示されます。(高周波出力は200W相当です。)
- 出力調整「弱2」を押すと「弱²」が表示されます。(高周波出力は0Wです。)



加熱時間の合わせかた

- 出力調整「強」「弱1」「弱2」は、いずれも1ステップ最大15分までセットできます。
- 2ステップの場合、出力調整「強」「弱1」「弱2」それぞれの組み合わせで、最大30分までセットできます。

〔合わせかた〕



ダイヤルを右に回して合わせます。
※時間設定ランプが点滅してから回します。

〔加熱時間について〕

設定時間と表示							
15分計							
時間							
表示	<table border="1"> <tr> <td>0.25</td> <td>5.10</td> <td>10.30</td> </tr> <tr> <td>25秒</td> <td>5分10秒</td> <td>10分30秒</td> </tr> </table>	0.25	5.10	10.30	25秒	5分10秒	10分30秒
0.25	5.10	10.30					
25秒	5分10秒	10分30秒					

加熱時間の決めかた

レンジ加熱の種類.....

レンジの出力を手動キーで強火から弱火まで3段階に調節できます。

表示	出力	用途
出力調整「強」	強 500W	直火でいうなら強火にあたり、料理のあたためや野菜の下ごしらえなど、スピーディーに仕上げる料理に使用します。
出力調整「弱1」	弱 200W相当	直火でいうなら弱火にあたり、バターをとかすときなど、ゆっくり、ソフトに加熱したい料理に使用します。
出力調整「弱2」	弱 ² 0W	加熱後、「むらし」時間をおくときに使用します。
出力調整「強」と出力調整「弱1」の2ステップ加熱		煮込み料理に使用します。出力調整「強」でひと煮立ちさせ、出力調整「弱1」でじっくり煮込みます。

加熱時間の決めかた.....

レンジ調理で大切なことは、食品にふさわしい加熱時間を決めることです。手動調理の加熱時間は、高周波出力500Wを基準に設定しています。

- 食品の種類(材質)によって早い遅いがあります

同じ分量でも、食品によって調理時間が違います。また同じ食品でも鮮度によって、多少違います。

- 食品の分量にほぼ比例します

分量が倍になれば時間も倍、半分になれば時間も半分になります。

- 加熱前の食品温度によっても違います

同じ食品でも、冷蔵庫や冷凍室から出して使う場合は、加熱時間がかかります。また夏と冬では多少時間が違います。加熱時間は食品温度(20℃)を基準にしています。冷蔵の場合は食品温度(20℃)のときの約1.3倍、冷凍の場合は約2.3倍になります。

- 使う容器によっても違います

容器の材質や大きさ、形状によっても加熱時間は多少違ってきます。

食品100g当たり「出力調整強」の加熱時間の目安

食品の種類	生からの調理	あたため	
野菜類	葉・果菜類	1分20秒~1分50秒	1分~1分20秒
	根菜類	2分~2分30秒	1分~1分20秒
魚介類	2分~2分30秒	1分~1分20秒	
肉類	2分30秒~3分	1分20秒~1分40秒	
ご飯類	—	40秒~1分	
めん類	—	1分~1分20秒	
みそ汁・スープなど	—	1分30秒~2分	
牛乳・酒など	—	40秒~1分	
パン・まんじゅう	—	30~50秒	

*野菜類は、ラップで包んで加熱します。

(食品温度20℃)

手動調理の使いかた

1ステップ調理

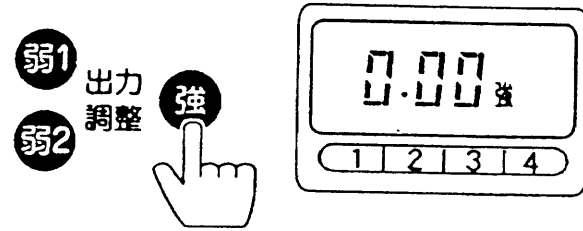
(例：出力調整「強」2分10秒加熱の場合)

操作の手順

1. 食品を入れ、ドアを閉める

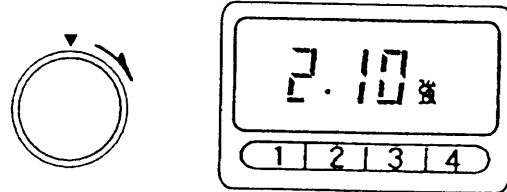
2. **出力調整** キーを押す

●選んだ出力を表示します。



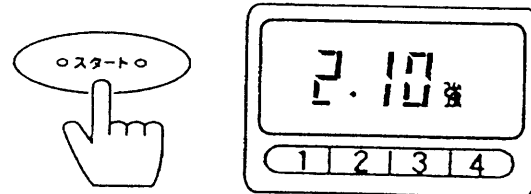
3. ダイヤルを回し加熱時間を合わせる

●加熱時間を表示



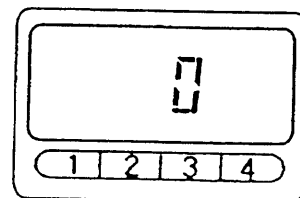
4. スタートキーを押す

●庫内灯が点灯し、丸皿が回転して加熱が始まります。
●残り時間を表示



5. 調理終了

●“ビビビビ”と鳴ります。



2ステップ調理

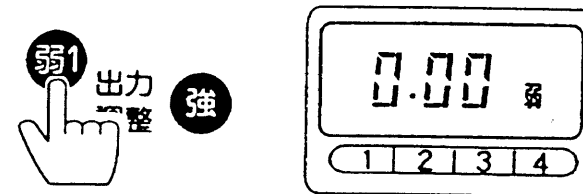
(例：出力調整「強」2分10秒→出力調整「弱」5分00秒加熱の場合)

操作の手順

1. 1ステップ調理の1～3の操作のあとに次の操作を行います

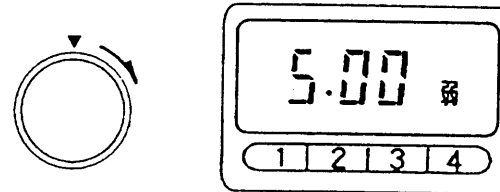
2. **出力調整** キーを押す

●選んだ出力を表示します。



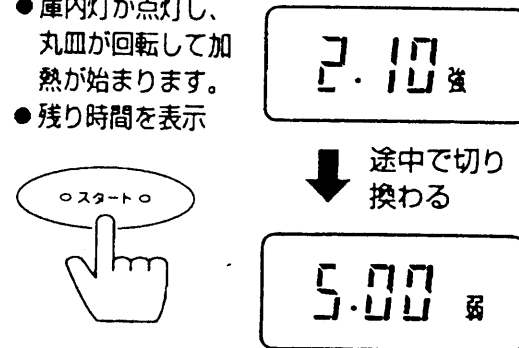
3. ダイヤルを回し加熱時間を合わせる

●加熱時間を表示



4. スタートキーを押す

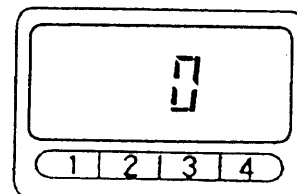
●庫内灯が点灯し、丸皿が回転して加熱が始まります。
●残り時間を表示



途中で切り換わる

5. 調理終了

●“ビビビビ”と鳴ります。



メモリー(記憶)調理の使いかた

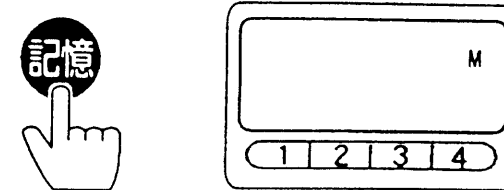
メモリーキーは4個あります。それぞれのキーにひとつずつ計4種類記憶させることができます。

記憶のさせかた

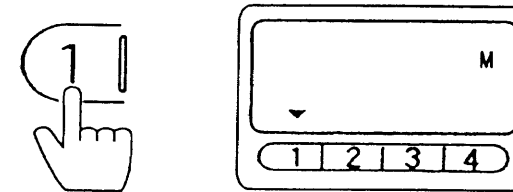
(例：メモリー①に出力調整「強」2分10秒記憶の場合)

操作の手順

1. **記憶** キーを押す

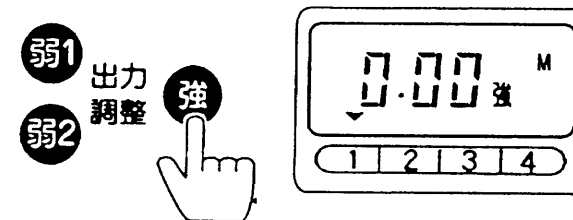


2. **メモリー** キーを押す



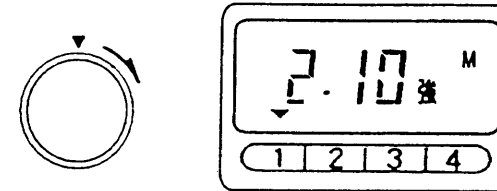
3. **出力調整** キーを押す

●選んだ出力を表示します。



4. ダイヤルを回し加熱時間を合わせる

●加熱時間を表示



5. **記憶** キーを押す

●“ビビ”と鳴り、記憶が完了します。



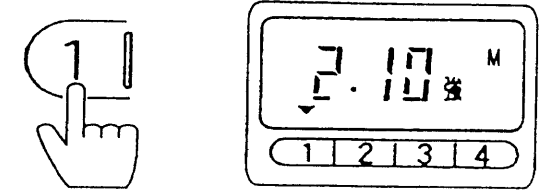
※2ステップ調理の場合、3・4をさらにもう一回繰り返します。

メモリー(記憶)調理のしかた

操作の手順

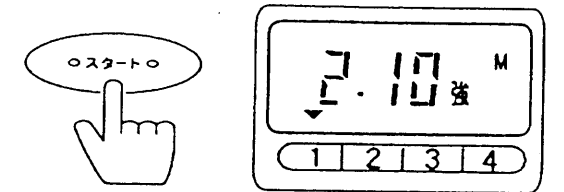
1. 食品を入れ、ドアを閉める

2. **メモリー** キーを押す



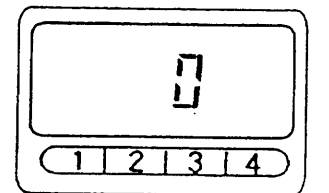
3. スタートキーを押す

●庫内灯が点灯し、丸皿が回転して加熱が始まります。
●残り時間を表示



4. 調理終了

●“ビビビビ”と鳴ります。



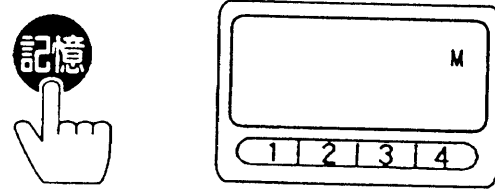
●記憶内容は、差込プラグを抜いたときや停電した場合でも、消えません。
●記憶内容を消す場合は、14ページの操作を行います。

(メモリー(記憶)調理の使いかた)

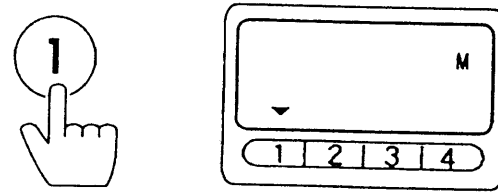
記憶内容の消しかた

操作の手順

1. **記憶** キーを押す

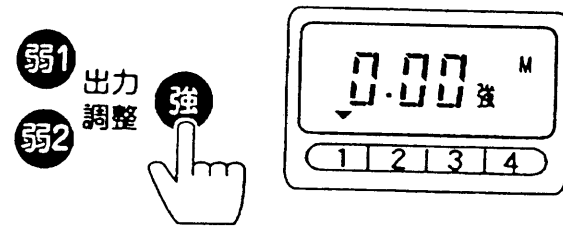


2. **メモリー** キーを押す

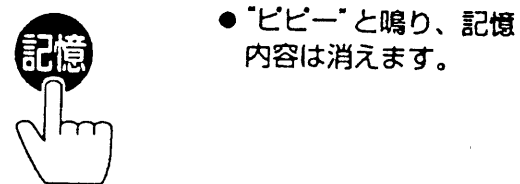


3. **出力調整** キーを押す

●選んだ出力を表示します。



4. **記憶** キーを押す



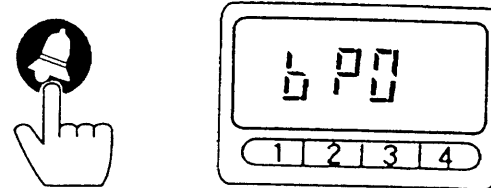
●“ビビー”と鳴り、記憶内容は消えます。

ブザー音設定のしかた

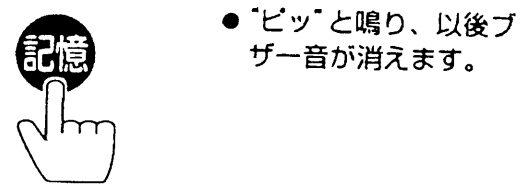
ブザー音の消しかた

操作の手順

1. **ブザー音設定** キーを押す



2. **記憶** キーを押す

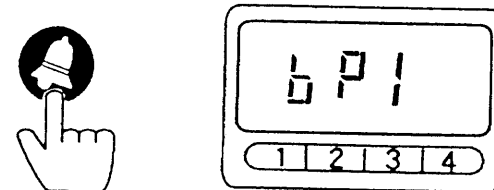


●“ビツ”と鳴り、以後ブザー音が消えます。

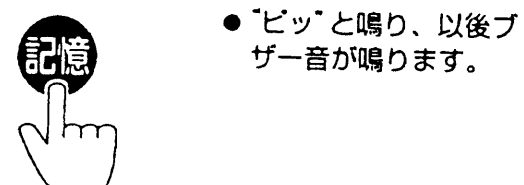
ブザー音の出しかた

操作の手順

1. **ブザー音設定** キーを押す



2. **記憶** キーを押す



●“ビツ”と鳴り、以後ブザー音が鳴ります。

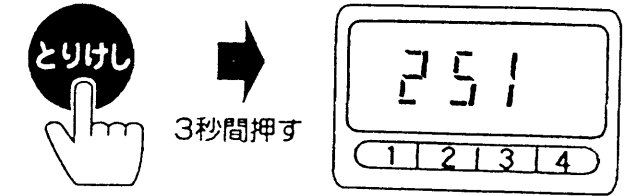
使用回数の調べかた

この製品の総使用回数を調べるときに、使用します。

操作の手順

1. とりけしキーを3秒間押す

●この製品の使用回数の総合計を1秒間表示。
(例：25,100回使用の場合)



※総使用回数の表示は、下2桁を切り捨てて表示します。

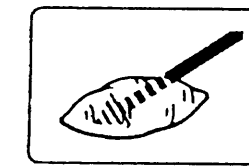
回数	表示
99回	00
101回	01
1,100回	00

- カウンターの最高計数量は199,999回です。次の使用で「00」に戻ります。
- 加熱途中に一時停止したあとで、再スタートした場合も、新たに1回として数えます。

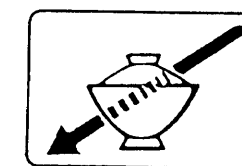
加熱のしくみ

高周波出力500Wで食品を加熱します。

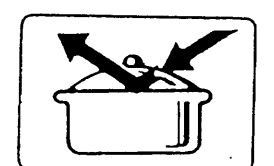
電波(高周波)には3つの性質があります。



水分を含んだ食品には「吸収」されます。



ガラス、陶磁器などの容器では「透過」します。



金属に当たると「反射」します。

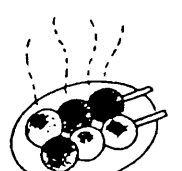
食品に吸収された電波は、水の分子のまさつ運動を活発にし、熱を発生させます。このまさつ熱で食品の内側と外側からスピーディーに加熱します。

スピーディーで経済的です

水を使わないので栄養素が保たれます

色や形、風味が保たれます

盛りつけたままで加熱できます



使える容器、使えない容器

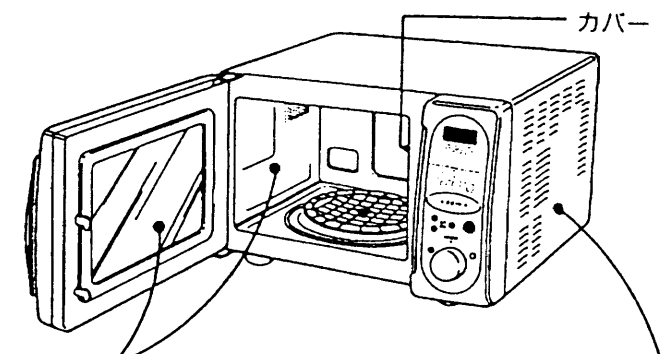
○印は使える
×印は使えない

容器の種類	説明
耐熱性のガラス容器 バイレックス、 バイロセラム、 ネオセラムなど 	○ 加熱後、急冷すると割れることがあります。
耐熱性のないガラス容器 強化ガラス、カットガラス、 クリスタルガラスなど 	× ただし、普通ガラスのコップでカット(凹凸)のないものや哺乳びんは、酒や牛乳の短い時間のあたためだけに使えます。
耐熱性のある陶器・磁器 ココット皿、 グラタン皿など 	○
日常使っている陶器・磁器 茶わん、皿など 	○ ただし、派手な色絵つけ、ひび模様、金、銀模様のあるものは、器を傷めたり、火花がでるので使えません。
耐熱性のあるプラスチック容器 ポリプロピレン製など 	○ 耐熱温度が140℃以上のもので「電子レンジ使用可」の表示のあるものを使います。ただし、油脂、糖分の多い食品は高温になり、容器が溶けてしまうので使えません。
その他のプラスチック容器 	× 耐熱温度が低いもの(ポリエチレン、スチロール樹脂など)や耐熱温度が高くても、電波で変質するもの(メラミン、フェノール、ユリア樹脂など)は使えません。ただし、出力調整「弱1」「弱2」のときにだけ、発泡スチロールのトレーが使えます。
ラップ類 	○ 耐熱温度が140℃以上のものは使えます。ただし、油脂、糖分の多い食品は高温になり、ラップが溶けてしまうので使えません。
金属容器、金串、アルミホイルなど 	× 電波を反射するので使えません。ただし、アルミホイルはこの性質を利用して加熱しすぎの部分をおおうなど、部分的に使えます。
竹、木、紙、藤、ニス、うるし塗り容器など 	× こげたり、塗りがはげたり、ひび割れすることがあるので使えません。特に、針金を使っているものは、燃えやすくなります。

■プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱温度表示をごらんください。
 ■材質や耐熱温度がわからない容器は使わないでください。

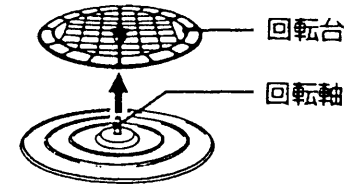
本体・付属品のお手入れ

お手入れはすぐにこまめにがポイントです。



加熱室内壁・前面・ドア内側

回転台を両手で持ち上げて取りはずしてから、かたく絞ったぬれ布きんでふきます。汚れがひどいときは台所用中性洗剤をつけた布でふきとり、その後必ず、かたく絞ったぬれ布きんで、洗剤をよくふきとります。



外側

やわらかい布でふきます。汚れがひどいときは台所用中性洗剤をつけた布でふきとり、その後必ず、かたく絞ったぬれ布きんで、洗剤をよくふきとります。

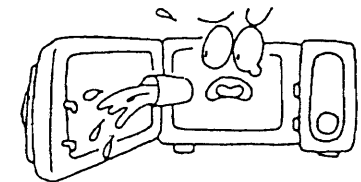
丸皿・回転台

油や食品くずが付着したときは、台所用中性洗剤をつけたスポンジたわしで汚れを落とし、水洗いし、水気を十分にふきとります。

注意

加熱室、付属品を金属たわしや鋭利なものでこすらない。傷がついたりメッキがはがれてさびることがあります。

キャビネットやドアに水をかけない。(さび、感電、故障の原因) 掃除の際も水をかけないでください。



パネルやドア、加熱室などをオープンクリーナー、シンナー、ベンジン、スプレーのガラスみがきなどでふかない。(傷、変形の恐れ)

加熱室内壁に食品くずや汁をつけたままにしない。汚れがとりにくくなり、火花(スパーク)がでたり、さびや悪臭の原因になります。



★化学ぞうきんの使用は、その注意書きに従ってください。

●加熱室側面のカバーの汚れがひどく、汚れがとれない場合には、販売店にご相談のうえ、側面のカバーを取り替えてください。

故障かな……と思ったら

次のことをお調べください

症状	点検
動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●差込プラグが抜けていませんか。 ●配電盤のヒューズ、またはブレーカーが切れていませんか。 ●ドアはきちんと閉まっていますか。 ●ドアを開け閉めしなおしても正常になりませんか。 ●差込プラグを抜いて、差し込みなおしても正常になりませんか。
料理のできがくあいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●調理の手順、ラップのかけかた、食品の量、付属品、容器の使いかたなどは正しいですか。 ●壁と近づきすぎていませんか。(4ページ参照)
火花(スパーク)がでる	<ul style="list-style-type: none"> ●加熱室壁などに金属製の調理道具やアルミホイルが触れていませんか。 ●回転台などに食品カスがついていませんか。
表示窓にE11、F81の表示が出て動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●差込プラグを抜き、差し込みなおしても正常になりませんか。

以上のことをお調べいただき、それでも具合が悪い場合は直ちに差込プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

次の場合は故障ではありません

表示窓に(50)または(60)が点滅し動作しない	電源と本体の周波数が違います。販売店にご相談ください。(4ページ参照)
回転台が右に回転したり左に回転したりする	スタートするときのタイミングにより右または左に回転します。(料理の仕上がりには影響ありません。)
動作中「ブーン」「ブーン」と音がする	出力調整 [弱1] のときの断続動作音です。

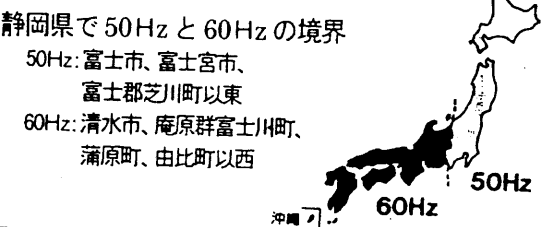
保証とアフターサービス (必ずお読みください)

★本体内部には高圧配線がしてありますので、サービスマン以外の人の修理はおやめください

保証書 (別添)
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
●保証期間はお買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間
電子レンジの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご転居されるときは
ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●ご転居されたり、移動したりした場合には、必ず販売店または電気工事に依頼して、アースの取り付け直しを行ってからご使用ください。(3ページ参照)
●違った周波数地域にご転居される場合、内部配線や名板の変更が必要です。お買い上げの販売店、または電気工事に依頼してください。



ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

管理を依頼される場合は **出張修理**
ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず差込プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

連絡していただきたい内容

品名	日立電子レンジ
形名	(銘板に書いてあります)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印などもあわせてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※銘板は本体右側にあります。
保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金=技術料+部品代+出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



●長年ご使用の電子レンジの点検を!
●電気レンジの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか

- 電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。
- 調理スタートキーを押しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないことがある。
- こげ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や火花(スパーク)が出る。
- 電子レンジにさわるとビリビリと電気を感ずる。
- その他の異常や故障がある。

お願い
故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用などは販売店にご相談ください。

※この電子レンジの製造時期は本体の右側面に表示されています。